

# 平成26年度 三河港貨物流動実態整理作業 実施概要 (国土交通省中部地方整備局三河港湾事務所 委託事業)

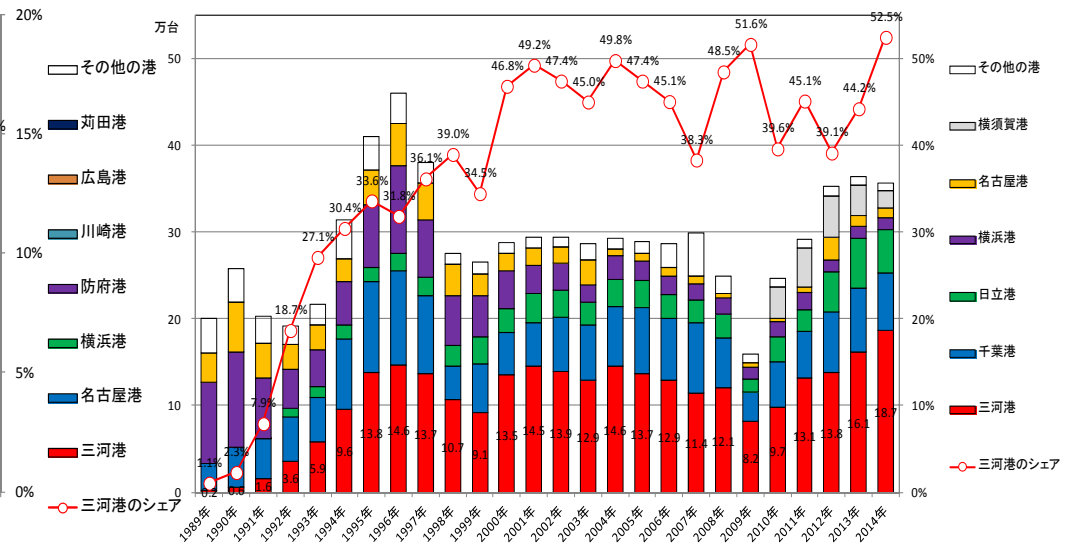
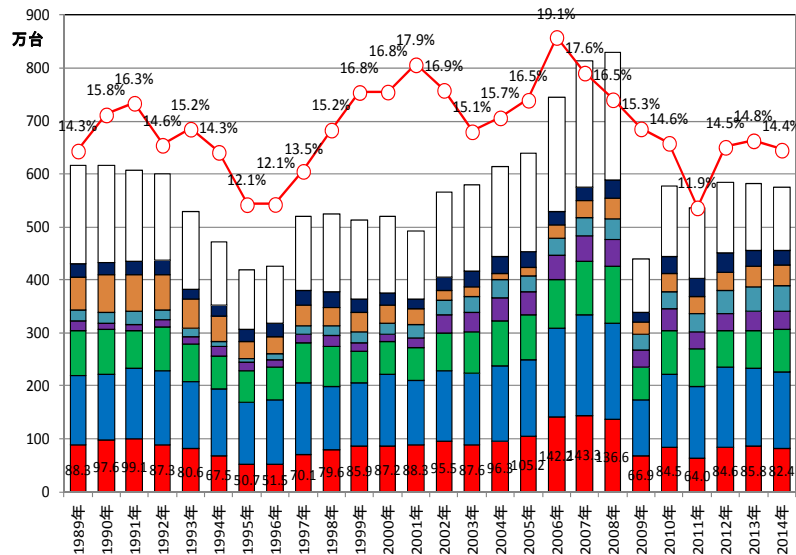
## 1. 業務の目的

本作業は、国内の完成自動車の流動実態について、統計分析やヒアリング調査によって把握・整理し、三河港神野地区において今後整備する予定の新規耐震強化岸壁等の整備効果等についての検討資料を作成した。

## 2. 業務の概要

既存の統計資料や報告書等のほか、必要に応じて自動車メーカー、インポーター等へ聞き取り調査を実施し、完成車(乗用車)の流動実態を把握・整理した。

## 3. 業務の結果(一部抜粋)



### ■ 港湾別の完成車輸出台数の動向

輸出台数は2014年に573万台となった。最も輸出台数が多いのは名古屋港の143万台で、三河港は第2位の82万台である。三河港の輸出台数の全国シェアは14.4%である。

### ■ 港湾別の完成車輸入台数の動向

2013年に36.3万台、2014年は35.6万台と1997年以降、最大規模となった。三河港が18.6万台で、昨年に引き続き過去最高の台数を輸入した。全国1位は22年連続である。